

◆鹿児島市火災の発生状況◆
(令和7年1月1日～8月31日中)

火災件数 84件(前年 88件)
うち住宅 26件(前年 27件)
死 者 3人(前年 5人)
負 傷 者 16人(前年 18人)



防火の基本は家庭から

防火連だより

第18号

令和7年10月1日
発行

鹿児島市防火協力会連合会
鹿児島市消防局 予防課
TEL.099-222-0970
FAX.099-227-4119

E-mail
yobou@city.kagoshima.lg.jp

2025年度 全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし



秋の火災予防運動

十一月九日(日)～十一月十五日(土)

令和七年

桜島を望む鹿児島市の街にも、秋の気配が漂い始めました。会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、会長職2期目を迎え、地域の皆様と共に「安心・安全なまちづくり」に取り組む決意を新たにしたいところでございます。

さて、今年の夏を振り返りますと、連日、熱中症警戒アラートが発せられた暑い夏でしたが、8月には、霧島市や始良市を中心に線状降水帯の発生や台風12号による記録的な大雨の影響で河川の氾濫や土砂災害、道路の冠水や断水など、被害が相次ぎました。特に始良市では、土砂崩れによる住宅の倒壊で、1名の尊い命が奪われ、自然災害の脅威を改めて実感しました。

次に、本年8月末の火災発生状況を見てみると、火災件数は84件、そのうち住宅火災が26件で、前年同月比1件減となっています。死者については、住宅火災で3名の高齢者が犠牲となりました。着衣着火や逃げ遅れによる一酸化炭素中毒が主な要因とされています。また、本年は、スマートフォンやモバイルバッテリーなどに使用されているリチウムイオン電池が強い衝撃や圧力により、発火や破裂を起こす火災が増えているようですので、使用方法や廃棄方法には注意が必要だと感じております。火災は一瞬で命を奪い、生活を根底から破壊します。大切な命を守るためにも、住宅用火災警報器の点検・交換や住宅用消火器の設置など住宅防火対策をお願いします。11月9日からは、「秋季全国火災予防運動」が始まりますが、この期間、地域ぐるみで防火意識を高める絶好の機会ですので、地域で防火の輪を広げましょう。

最後に、鹿児島市防火協力会連合会は、「地域からはじめよう住宅防火」というスローガンのもと、地域での消防ページェントや地域の会合を通じて、住民の皆さんに「火の用心」を伝え、火災ゼロを目指しています。皆様と心を一つに、災害に強い鹿児島市を築けますよう、今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



鹿児島市防火協力会連合会
会長 打越 和郎

「地域からはじめよう住宅防火」